
「日本における集中治療室入院患者に対する早期離床の実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、杏林大学保健学部倫理審査委員会の承認を得て、埼玉医科大学総合医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023 年 8 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、集中治療室に入室した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

日本の集中治療室に入室している重症患者さんにおける離床・リハビリテーション実施率を明らかにする。また、離床が実施できなかった患者さんの情報から、その阻害因子について調査する。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 4 月 15 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテおよび診療録に記載のある診療記録および検査データより、リハビリの実施内容、離床が実施できていなかった場合の理由、年齢、性別、身長、体重、病名、ICU 入室理由、入室している ICU のタイプ (surgical ICU, Coronary care unit, Stroke care unit など) 重症度 (APACHE II score : acute physiology and chronic health evaluation)、ICU 滞在期間、人工呼吸器装着の有無、人工呼吸器装着期間、補助循環の有無、覚醒レベル、投薬状況、栄養投与状況、併存疾患 (Charlson Comorbidity Index) 入院前のフレイルの有無 (Clinical Frailty Scale)

【個人情報の取り扱い】収集した情報は、解析する前に氏名・患者 ID などの個人情報を削除し新たな符号 (番号) を付け、どなたのものかわからないようにします (このことを匿名化といいます)。匿名化した上で、パスワードロックのかかる情報漏洩対策を施した本研究専用のハードディスクに保管し管理いたします。患者 ID と新たな符号の対応表は、別途パスワードロ

ックのかかったメモリカードに保存し、同様に管理いたします。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者であるリハビリテーション部 大久保 裕也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院の集中治療室へ入室した患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 松嶋真哉
- ・埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 主任 大久保 裕也

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

＜提供元機関＞埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

＜提供先機関＞杏林大学保健学部

5. 試料・情報の提供方法等について

- ・＜試料＞提供なし。
- ・＜情報＞パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション部 主任 大久保 裕也

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3529（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：日本における集中治療室入院患者に対する早期離床の実態調査

○研究責任（代表）者：杏林大学保健学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 松嶋真哉